

知って備える 防災メモ

第61回



冬の災害に備えましょう

冬に地震が発生した場合、雪や暖房器具などにより、冬特有の被害が発生する恐れがあります。

また、平成24年11月27日、市内で発生した大規模停電のように、電気などのライフラインが遮断され、暖房器具が使用できなくなった場合には、自宅や避難所、車内などでの寒さ対策など、夏とは異なる備えが必要となります。

①雪への備え

雪が積もると、地震の揺れによる落雪や雪の重みによる家屋の倒壊の危険性が高くなることに加え、崖などの急傾斜地では雪崩の恐れもあります。

また、路面の状況や吹雪などにより、想定していた避難経路を利用できない場合もあります。

冬に災害が起きた際に速やかに避難できるように、複数の避難経路を想定しておきましょう。

②火災への備え

冬は、ストーブやヒーターなどの暖房器具を使用するため、火災が発生する危険性が高くなります。避難する際には、火の元の確認を必ず行いましょう。

また、万が一、火災が発生した場合に、初期段階で消火できるように、日頃から消火器などを準備し、使用方法を確認しておきましょう。

③寒さへの備え

地震などによって停電となった場合、寒さをしのぐために、電気を使用しない暖房器具を準備するほか、避難が必要となる場合を想定し、防寒着や防寒シート、毛布、使い捨てカイロなどを準備しておくことも大切です。



いつ発生するか分からない災害に備えて一人ひとりが日頃から心構えをしておくことで、被害を最小限にすることができま

す。いざというときのために、さまざまな準備をしておきましょう。

▼問い合わせ 総務グループ

(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

ふれあい(バドミントン)

『ふれあい』は、代表が入れ替わりながらも何十年も続いているバドミントンサークルです。現在、会員は10代から60代までの男女20人。毎週火・金曜日の18時から21時まで幌別東小学校で、バドミントンの練習に励んでいます。

「登別や室蘭の大会などを通じて知り合ったメンバーがほとんどで、中には親子やきょうだいそろって練習に来る人もいます。顔見知りが多く、仲良く楽しくやっています」とメンバーを紹介してくれたのは、昨年代表となった渡邊珠紀さん。「性別や年齢の差はありますが、バドミントンのレベルもだいたい同じぐらいのメンバーが



▲テンポよく打ち合いを続けるメンバー

集まっているので、楽しみつつ、競い合いにもなっていて、いい練習になります。個々人で大会に出場しているの、レベルアップできるような、懸命にラケットを振っています」と渡邊さんは、サークルの活動を語ってくれました。

メンバーには、伊達市から練習に通っている方もおり、半年ほど前に入会した柄澤昌弘さんは、「メンバーの人から誘われて一緒に練習するようになりました。今の自分のレベルにも合っているように感じ、伊達から通っているかがあります」と話してくれました。

バドミントンの経験がある方で、同サークルに興味のある方は、渡邊さん(☎⁸⁵3331)まで。



楽しむことも忘れずに、みんなで仲良く切磋琢磨しています。